

校長室だより

☆教育目標☆

自ら考え判断し、進んで行動できる富中生

＜生活心得＞ 時を守り 場を清め 礼を正す

令和2年1月27日発行 No.19

富岡市立富岡中学校 校長 中村 喜雄

☆☆運がいい・・・☆☆

運をよくする感謝の五ヶ条

- いつも笑顔で にこにこ
- あいさつ元気に こちらから
- しゃべることより まず聞こう
- 愚痴と悪口 絶対禁物
- 常に唱えよ「わたしはついてる」

これは、ある実業家のことばです。その方は、長く一流企業に勤務された後、講演会を生業と全国を東奔西走し、著作活動でも活躍されていました。その方によると、「運をよく・・・」は、独立してからの人生の生き方エッセイを表したものだということですが、左の「運をよくする感謝の五ヶ条」の4つ目までは人間関係について、5つ目

は意識のもち方についてと解釈できます。特にその5つ目が大切で、「**人生の成功は人間関係に尽きる。しかも、『運のいい人』を引き寄せること**」が重要だと説明しています。

ところで、“運”とは、人知では計り知れない身の上の成り行き、巡り合わせです。人間、運が悪いと、どんなに努力してもなかなか思うように事がうまく運びません。ですが、「誘引の法則」なるものがあって、運というものは、不思議と「運がいい」と思っているところに集まってくるのだそうです。そうだとすれば、運を良くするには、まず「自分は運がいい」と思うこと、そして、「私はついている」と常に唱えることが肝心といえるでしょう。

そういえば、夢を現実のものとしたシュリーマンや坂本龍馬が、自分は「運がいい人間である」と自負していたことは有名な話です。現在では、IT関連やチェーン店経営で成功した若い実業家なども、自分は「運がいい人間」と思い、どんな難問にぶつかっても「自分はついている人間」ということを信じて、強い信念をもって事にあたっている人が多いのだそうです。

新たな年となって1ヶ月が過ぎようとしています。今年1年、自分は「運がいい」「ついている」と思い、良い年にしていきましょう。地道な努力と謙虚さを忘れず、諦めず、良好な人間関係を基盤に・・・



